**排気ダクト等の附属設備に係る点検表**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 点検部 | | 点検方法 | 点検の要点 | 確認欄 |
| 天蓋 | | 目視により確認する。 | ア　内面にワックス状の油塵（油のまじったほこり）等の付着がないか  イ　変形、損傷、腐食等がないか  ウ　樋に油脂分等の溜りがないか  エ　オイル抜きのプラグからの油漏れがないか |  |
| グリス除去装置 | フィルター部分 | フィルター部分を取り外し、目視により確認する。 | ア　油塵の付着により目詰まりしていないか  イ　変形、損傷、腐食等がないか  　　上記確認後、正しい位置に取り付けられていることを確認する |  |
| フィルターケース（Ｖバンク）部分 | フィルター部分及びグリス回収容器を取り外し、目視により確認する。 | ア　内外面にワックス状の油塵等の付着がないか  イ　グリス回収容器の油量に余裕があり、油漏れがないか  ウ　油送パイプに詰まりがないか  エ　変形、損傷、腐食等がないか |  |
| 防火ダンパー  （火炎伝送防止装置） | | グリス除去のフィルター部分を取り外し、又は点検口から目視による確認後、温度ヒューズ部を取り外し、作動状況を確認する。 | ア　羽根、バネ、温度ヒューズ部に油塵、錆び、ほこり等の付着がないか  イ　変形、損傷、腐食等がないか  ウ　油塵等の固着がなく、円滑に作動するか  エ　温度ヒューズ部の劣化がないか |  |
| 排気ダクト  （天蓋部分から目視できる範囲） | | グリス除去装置のフィルター部分を取り外し、目視により確認する。 | ア　内面に油塵等の付着がないか  イ　変形、損傷、腐食等がないか |  |
| 排気ファン・たわみ継手 | | 点検口から、目視による確認後、排気ファンを作動させ運転状況を確認する。 | ア　羽根車、ケーシングに油塵等の付着がないか  イ　変形、損傷、腐食等がないか  ウ　Vベルトの摩耗、亀裂、緩みがないか  エ　プーリーの摩耗、損傷がないか  オ　運転音に異常がないか  カ　異常振動がないか |  |
| 自動消火装置 | | 甲種若しくは乙種の第３類消防設備士又は第１種点検資格者による点検と併せて、目視による確認を実施する。 | ア　消火薬剤放出口はキャップ等の覆いが確実に設けられており、油塵等の付着、目詰まりがないか  イ　感知部に油塵等の付着がないか  ウ　変形、損傷、腐食等がないか |  |

※外観から確認できる部分は日常的に、排気ダクト内部など外観から確認が難しい部分はおおむね１年ごとに点検しましょう。（点検頻度はあくまで目安ですので、使用頻度や店舗の規模に応じて点検して下さい。）

ご自身で確認することが困難な場合は、点検業者等に依頼しましょう。